

9 - 2 九州中・北部の地震活動 (1995年5月~10月)

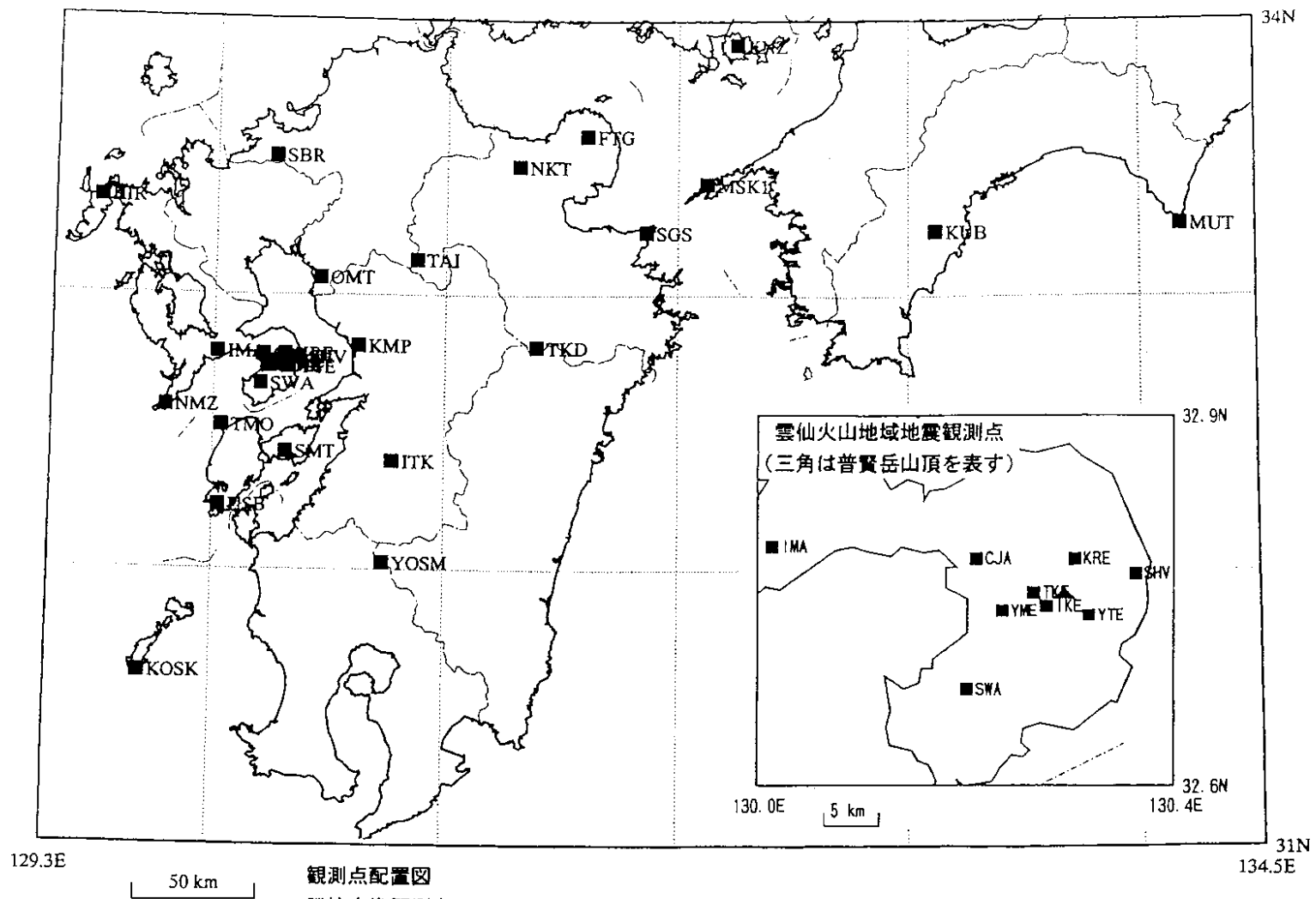
Seismic Activity in the Middle and Northern Kyushu District (May-October, 1995)

九州大学理学部 島原地震火山観測所
Faculty of Science, Kyushu University

第1図に九州大学地震観測点および隣接交換によりデータ収録中の鹿児島大学、東京大学および高知大学の地震観測点配置を示す。第2図に1995年5月~7月、第3図に8月~10月の震央分布を示す。また第4図には、主な地震の発震機構を示す。

5月7日、福岡県北部では、北西-南東走行の警固断層沿いにM3.8の地震が発生した。これは1995年2月~3月にかけて同断層付近に数個の微小地震が観測されて以来である(前号参照)。九州中部では、従来からの地震活動域である有明海北部、熊本県中部、八代海および橘湾から天草灘地域において定常レベルでの地震活動が引き続いている。このうち第5図に、1995年2月より始まった島原湾東部の群発地震を含む有明海周辺の震源分布、第6図に第5図枠内の地震のM-T図を示す。この群発地震の活動レベルは9月以降低下傾向にあると思われる。

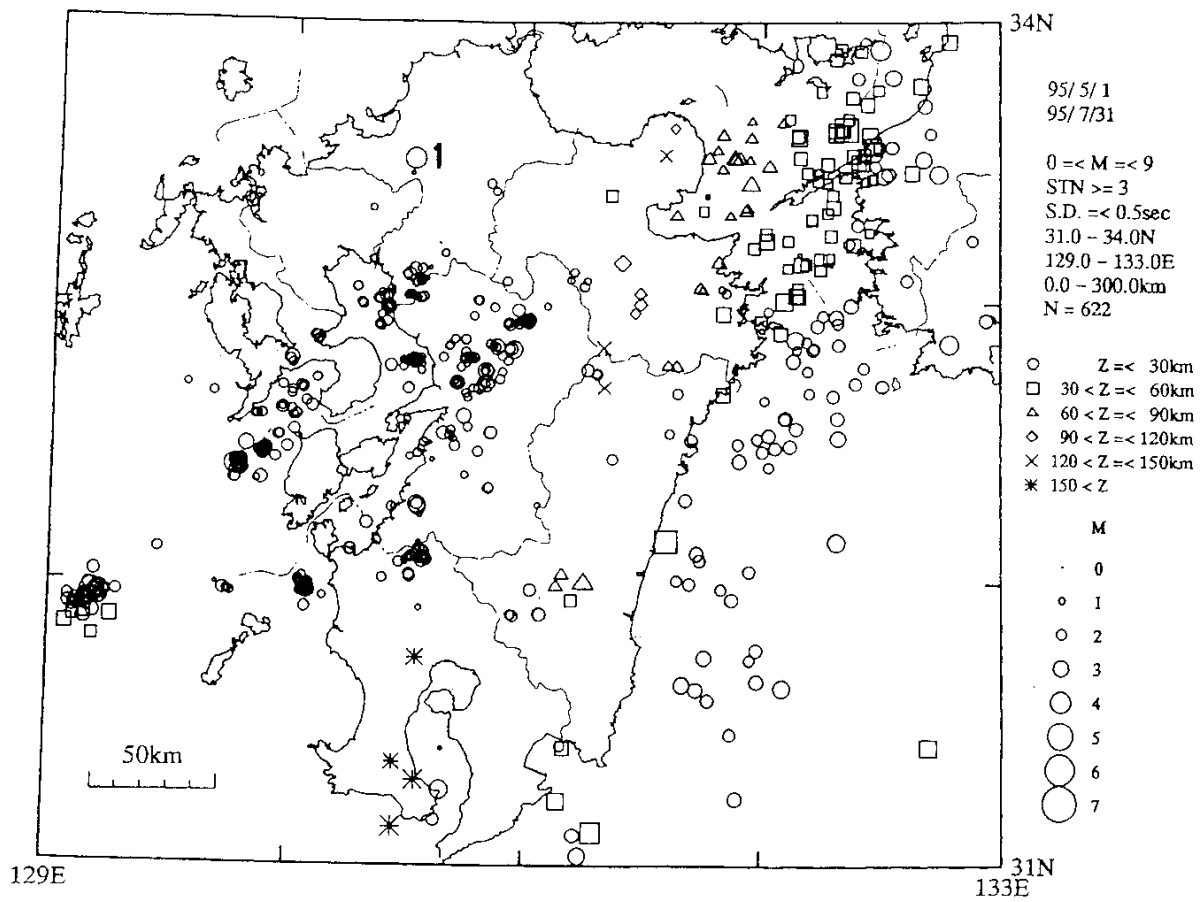
一方九州東部(宮崎県)では、5月~8月にかけてM4クラスの地震が、深さ50km前後で数個発生した。第7図に震源分布、第8図に発震機構を示す。気象庁データによると、宮崎県東部から沿岸部にかけては1961年(M7.0)、1968年(M7.5)、1984年(M7.1)にM7以上の地震が記録されており、今後の活動推移に注意を要する。



第 1 図 地震観測点配置

Fig. 1 Distribution of seismic stations.

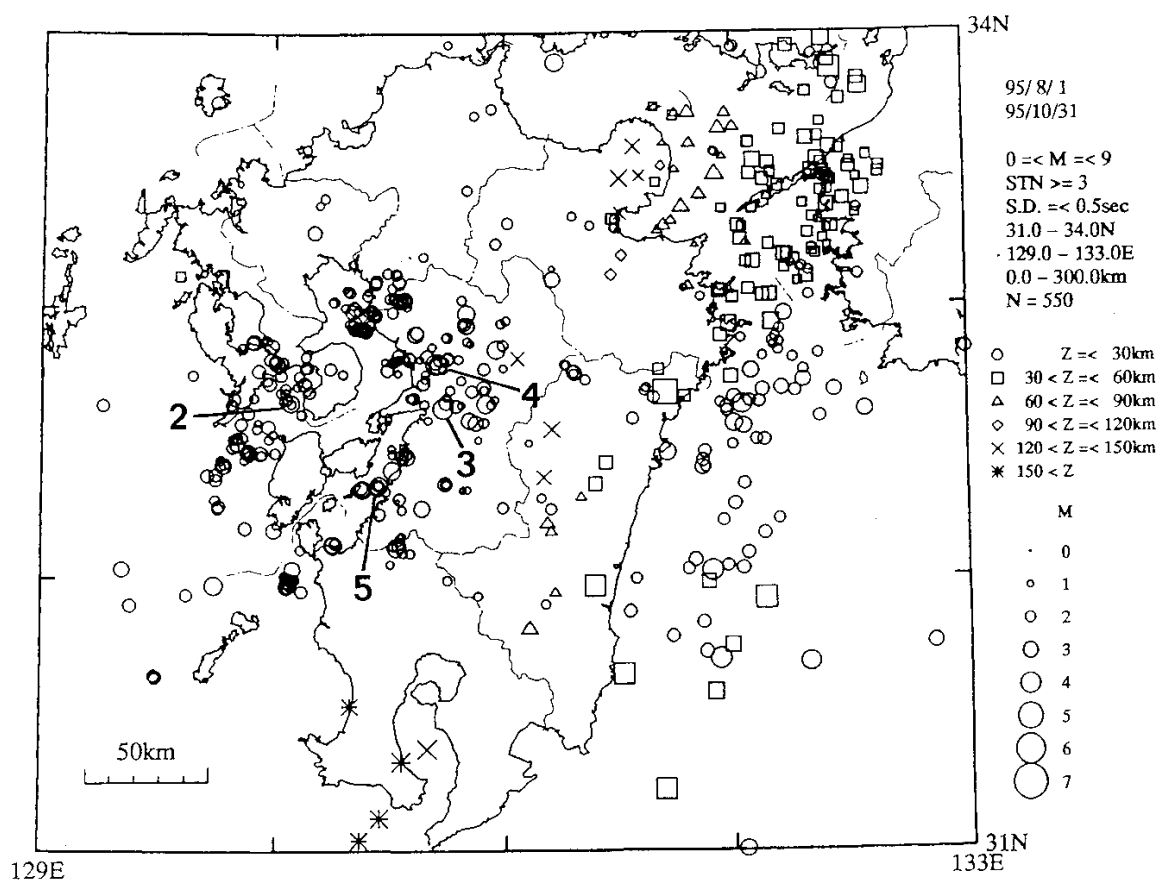
EPICENTER DISTRIBUTION



第2図 震央分布 (1995年5月~7月)

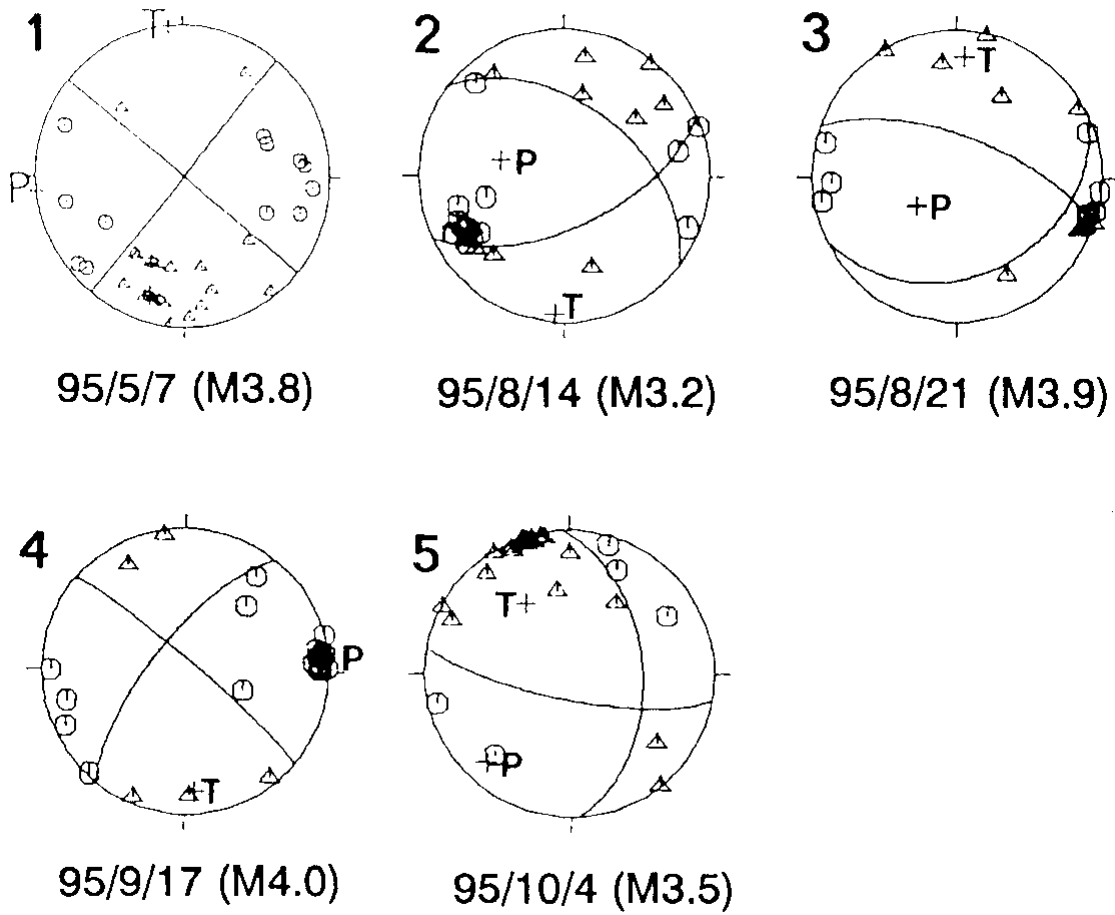
Fig. 2 Epicenter distribution (May-July 1995).

EPICENTER DISTRIBUTION



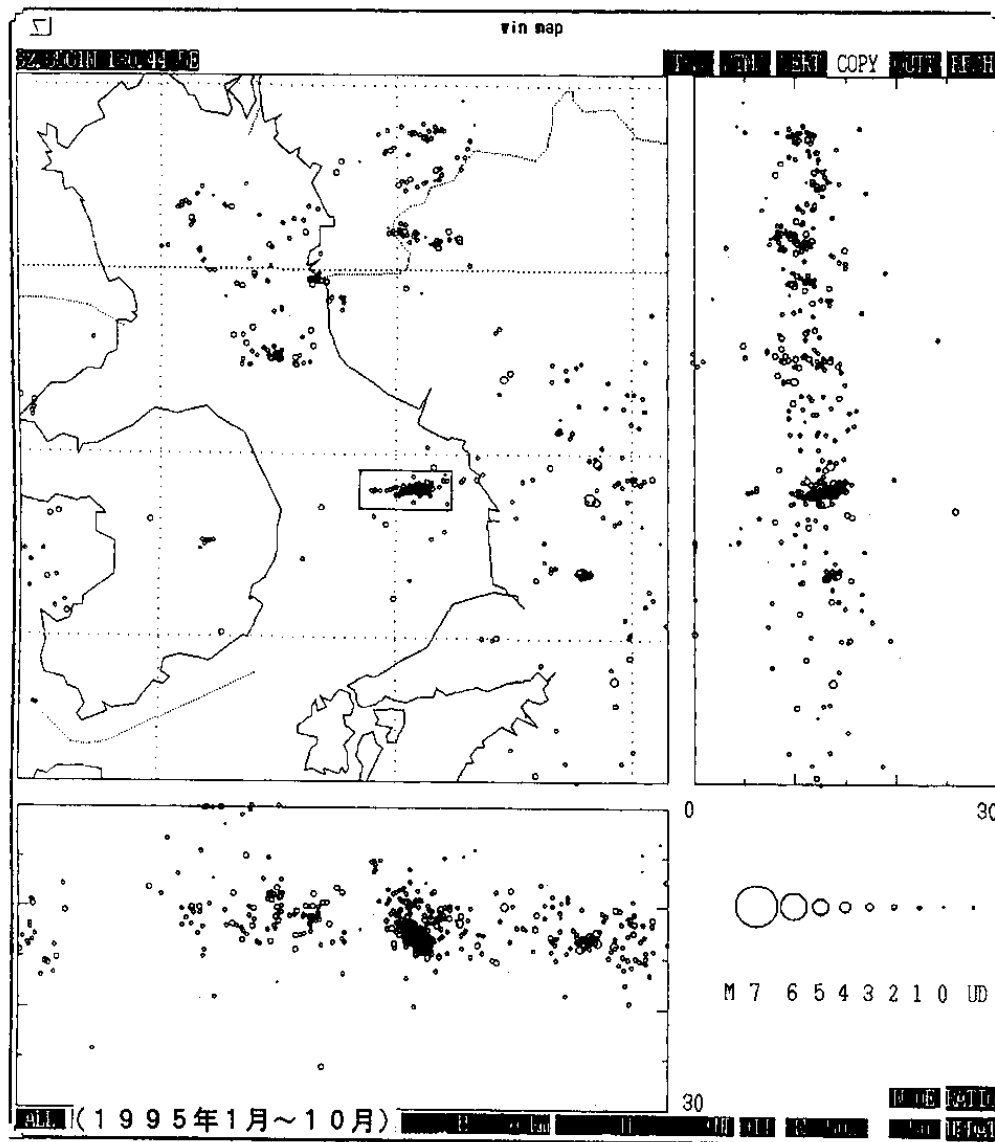
第3図 震央分布 (1995年8月~10月)

Fig. 3 Epicenter distribution (August-October 1995).



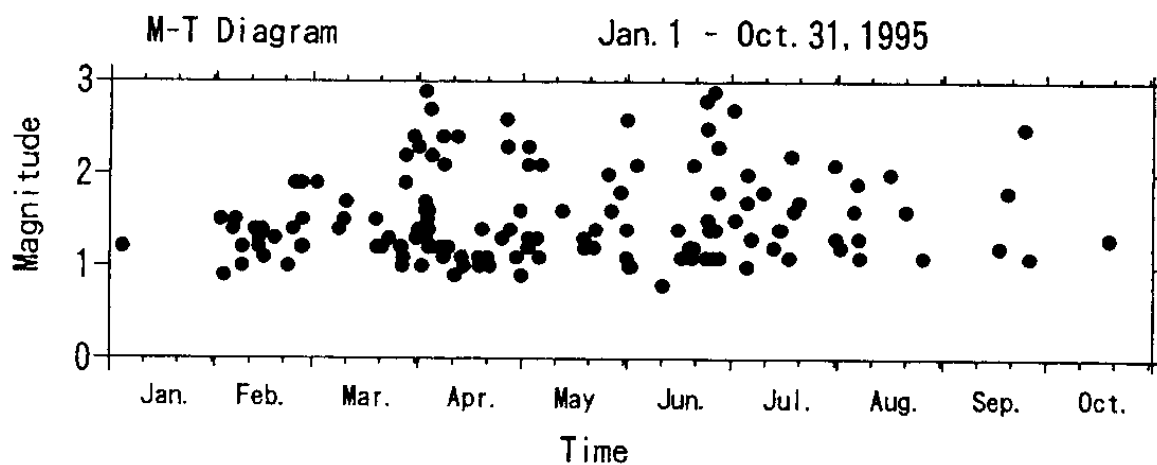
第4図 発震機構。震央は第2, 3図に示されている。下半球等積投影。三角が押し。丸が引き。
 1では気象庁のデータも使用。

Fig. 4 Focal mechanism solutions. Their epicenters are shown in Figs. 2 and 3. Equal area projection on the lower hemisphere ; triangle, up ; circle, down.



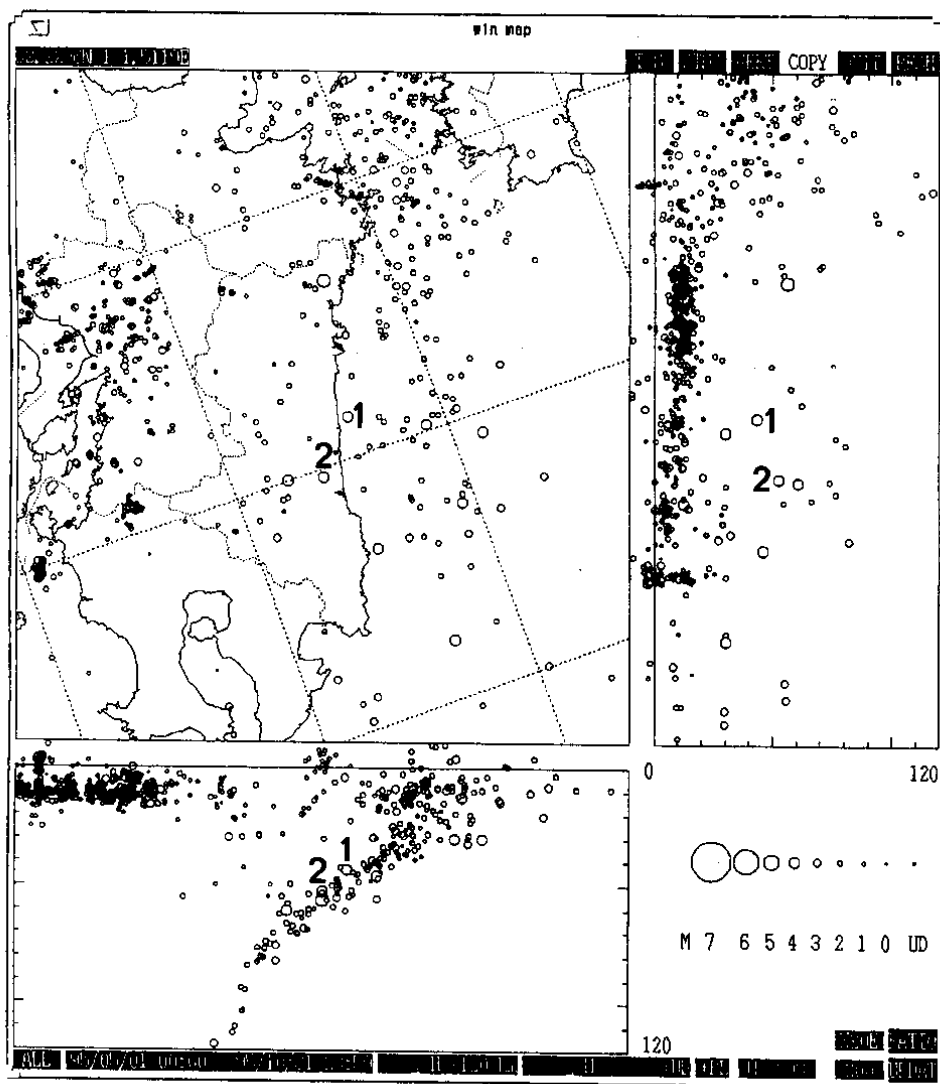
第5図 有明海周辺の震源分布 (1995年1月~10月)

Fig. 5 Hypocenter distribution in and around Ariake sea (January-October 1995).



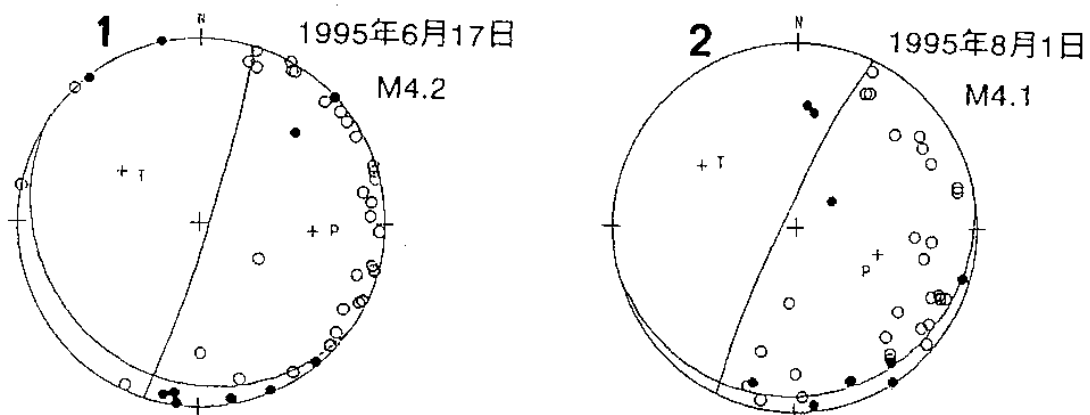
第6図 第5図枠内の地震のM - T図

Fig. 6 M-T diagram of the earthquakes in the rectangle region in Fig. 5.



第7図 九州東部の震源分布 (1995年5月~10月)

Fig. 7 Hypocenter distribution in and around Miyazaki prefecture (May-October 1995).



第8図 発震機構。震源は第7図に示されている。下半球等積投影。黒丸が押し。白丸が引き。鹿児島大学、気象庁のデータも使用。

Fig. 8 Focal mechanism solutions. Their hypocenters are shown in Fig. 7. Equal area projection the lower hemisphere ; closed circle, up ; open circle, down.